

「ソリエリュミエールー物質・移動・時間、そして叡智」について

金沢21世紀美術館では、1年間を通じて「ソリエリュミエール」をキーワードに、コレクション展／企画展といった枠組みを超えたひとつのテーマ展を展開中です。

それは、SANAAによる開かれた建築空間においてゆったりと移ろいゆく光と時間の流れのなかで、現代を先鋭に切り取り映し出す多彩な作品を展覧し「観照する」試みだと言えるでしょう。

第一章は、「ソリエリュミエール-物質・移動・時間」と題し、デジタルな時間に刻まれた日々と一方向に流れる歴史に拘束された私たち現代人の心身を解き放ち、人間を含め、悠々と流れるエネルギーのかたちである物質世界の有り様を探ります。

第二章は、「ソリエリュミエール、そして叡智」と題し、知・情・意といった人間に特有の内面世界に光を当て、人間自体が抱え持つ闇と絶望を照らし出し、人間世界の有り様を探ります。この秋(9月15日-11月4日)には、第1章と第2章が融合し「ソリエリュミエールー物質・移動・時間、そして叡智」として壮大なポリフォニーを奏でます。

本展の特徴

「キーワードは、ソリエリュミエール」

傾いたターンテーブルの上で、プラスチック製の使い捨てコップがカラカラと音を立てて不規則に転がる。それに野外用携帯ランプの緑の光が照射され、対面の壁に思いがけない光と影のイリュージョンが映し出される――。当館が所蔵するペーター・フィッシュリ・ダヴィッド・ヴァイスの彫刻作品《音と光ー緑の光線》の一光景である。本展のタイトル「ソリエリュミエール」は、同作品タイトルを典拠とする。フランス語で「ソン (son)」は音、「リュミエール (lumière)」は光を意味し、「ソリエリュミエール」は、1952年にフランスで最初で開催されたイベントに由来する言葉である。以後、照明と音響効果を用いて史跡や有名建築を語る豪華なスペクタクルショーのことを指すようになった。前述の作品は、卑近な日常品を使い、隠れた美を見出しながら、人間社会の本質を浮き彫りにして批評する機知に富んだ作品を発表し続けてきた彼らの代表作の一つである。音と光という物質を示すと同時にスペクタクルショーを指す名詞でもあるこの言葉は、フィッシュリとヴァイスの作家としての批評性と哲学的思考を端的に示す。本展のタイトル「ソリエリュミエール」には、その言葉の多義性に加えて、既存の制度や権威、社会の既成概念から常に自由であり続けるアーティスト達への敬意が込められている。

「SANAA建築ならではの展示が1年間を通じて変貌しつつ展開」

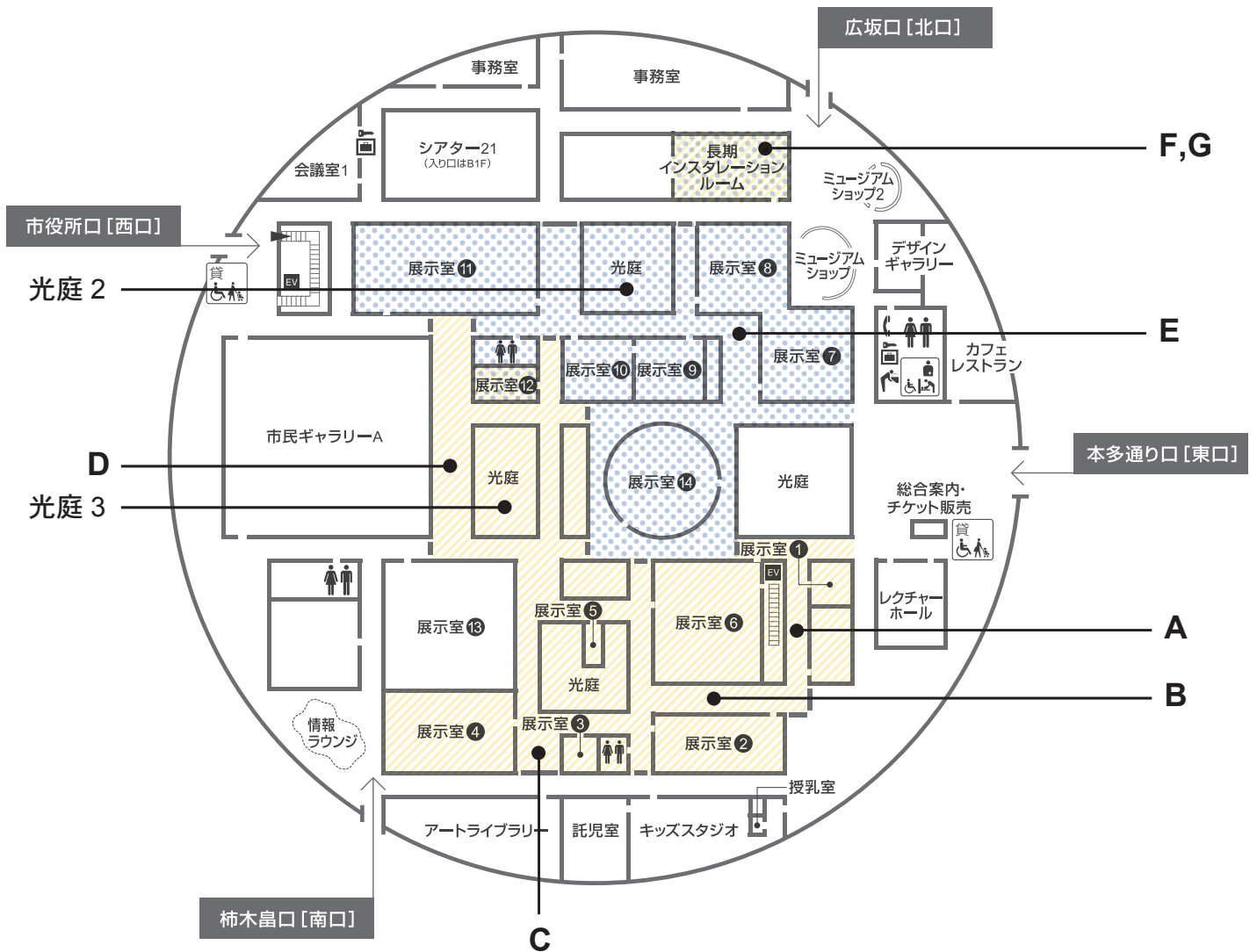
コレクション展「ソリエリュミエール - 物質・移動・時間」(2012年4月28日～11月4日)と企画展「ソリエリュミエール、そして叡智」(2012年9月15日～2013年3月17日)は、それぞれ独立した展覧会であるが、共に「ソリエリュミエール」をキーワードとするひとつの大きなテーマ展の部分構成している。丸い美術館のほぼ中心にある円形展示室で音世界の深層を多彩にみせるカールステン・ニコライ、当館の光庭のために制作されたペーター・フィッシュリ・ダヴィッド・ヴァイスの《無題(コンクリート・ランドスケープ)》《クリンクロン》、パトリック・ブランと日比野克彦のコラボレーション「サンセット～サンライズ・アーク」光庭プロジェクト、自然光の移ろいの中で発光する村上隆の《シーブリーズ》など、内部と外部が共鳴し、自然と人工、日常と非日常が往還する場で、展覧会は刻々と変貌する。

多彩で新鮮な作家作品のセレクション

ゴヤから Chim ↑ pom まで、ジャンルも時代も横断する総勢 25 組の作家によるポリフォニー

「ソンエリュミエール、そして観智」
 [①]-[⑥]、[A]-[D]、[G]、[光庭3]
 会期：2012年9月15日(土)~2013年3月17日(日)
 ※[⑥]は11月4日まで

コレクション展「ソンエリュミエール-物質・移動・時間」
 [⑦]-[⑫]、[⑭]、[光庭2]、[E]、[F]
 会期：2012年4月28日(土)~11月4日(日)
 ※[⑫]、[F]は8月31日まで



- [①] Chim ↑ Pom (a) / フランシスコ・デ・ゴヤ (b)
- [A] 木村太陽 (c)
- [B] 鈴木ヒラク (d)
- [②] ペーター・フィッシュリ ダヴィッド・ヴァイス
- [③] ジェイク&ディノス・チャップマン (f) / フランシスコ・デ・ゴヤ
- [C] 奈良美智 (g)
- [④] ラファエル・ロサノ=ヘメル (h)
- [⑤,⑥] 梅田哲也 (i)
- [D] 村上隆 (j)
- [光庭3] パトリック・ブラン / 日比野克彦 (m)
- [⑦] 岸本清子 (6) / サイトウ・マコト (11) / アンディ・ウォーホル (14)

- [⑧] ヤン・ファープル (3) / ゲルハルト・リヒター / 田嶋悦子 (12)
- [E] 木村太陽 (5)
- [⑨] 草間彌生 (7)
- [光庭2] ペーター・フィッシュリ ダヴィッド・ヴァイス
- [⑩] ゴードン・マッタ=クラーク (8)
- [⑪] 秋山陽 (1) / ゲルハルト・リヒター (10)
- [⑫] ペーター・フィッシュリ ダヴィッド・ヴァイス (4/e) / 草間彌生 (k)
- [⑭] カールステン・ニコライ (9)
- [長期インスタレーションルーム]
- [F] 栗津潔 (2) / マグナス・ヴァリン (13)、
- [G] ピピロッチェ・リスト (l)

※ 作家名の後の数字・アルファベットは、プレスリリースに掲載の画像と連動しています。